



総合 ABC のストーリー ～揺れる心も、前進の足音～

学力テスト総合 A まで残り 2 週間を切りました。これから 10 月の総合 B、11 月の総合 C へと、1 ヶ月ごとにテストが連続します。これまでにない広大な出題範囲を前に、心がざわついたり、思うように勉強が進まず焦ったりしている人もいるかもしれません。

こうやって心が揺れ動いているのは、あなたの脳が新しい刺激を受け止め、確実にレベルアップしようと脱皮している証拠なのです。今までの先輩たちも全員、この時期に同じように悩み、試行錯誤を繰り返しながら前に進んできました。葛藤を抱えながらも今日こうして「何か取り組もう」としている時間こそが、誰もが通る大切な「成長のプロセス」です。

「木を植えるのに最も良い時期は 20 年前であった。次に良い時期は『今』である。」



中国の古くからある言葉です。(アメリカやもちろん日本にも似たような言葉があります。) 木はそう簡単に大きくなりませんよね。だからと言って、あきらめて植えなければ育ちません。0(ゼロ)はいつまでたってもゼロのままです。一歩進むのとは大きく違います。「夏休みにもっと勉強しておけばよかった」「1 年生の時からコツコツやっていたら…」と悔やむ気持ちをもっている人は少なくないのではないでしょうか。悔やんでも過去の時間を取り戻すことはできません。過去を嘆くことよりも、「**今、この瞬間から種をまくこと**」が大切です。今植えた種は、これから先のあなたを確実に大きく育ててくれます。

私たちの頭の中に蓄えられた知識は、覚えた瞬間にすぐ結果になるのではなく、何度も使っていく中でじっくり熟成され、後からじわじわと実力になって表れます。だからこそ、総合 A・B・C という 3 ヶ月の連続した機会が用意されているのです。

最初のテストで完璧な完成形を目指す必要はありません。 総合 A で自分の「弱点という宝物」を見つけ、B・C で少しずつ二重線を引きながら補修していく。この 3 ヶ月間のストーリー全体を通して、**自分をじっくりアップデートしていくことが大切です。**

「夏休みに力を発揮できた人」はその調子で。「思うように進まなかった人」も、今日から、いや「**今から**」が、**あなたにとっての「最高のスタート」**です。テストまでの残り 2 週間、そしてその先の 1 ヶ月ごとにある節目に向けて、今できる「小さな 10 分」を積み重ねていきましょう。今日植えた一粒の種は、あなたの未来を確実に広げてくれます。

～保護者の皆様へ～

これから 12 月にかけて、子どもたちはテストが連続するタフな期間に入ります。プレッシャーを感じると、心や頭は一時的にフリーズしやすくなるものです。

「もっと早くやっていたら…」とお子様自身が一番感じている時期でもあります。どうか御家庭では過去の結果や点数、机に向かっていて時間だけを追いかけるのではなく、「今日植えた小さな一歩(努力)」に焦点を当て、温かく受け止めてあげてください。「一歩でも前に進めば大丈夫」という御家庭からの安心感が、子どもたちが粘り強く進むための最大のエネルギーとなります。学校と御家庭でしっかり連携し、一人一人の挑戦を支えていけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

部活動体験について

部活動体験を行っている高校がありますが、「**参加承諾書(保護者署名あり)**」が必要な場合があります。参加承諾書は中学校を介する必要がある高校と、御家庭が直接 HP からダウンロードして、当日持参という高校があります。**学校ごとによって違っているので確認**をお願いします。

※体験ではなく、見学の場合は参加申込だけでよいという学校は多いようです。

